

# 『時事直言』 No.1672 2024年5月22日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 北方領土は帰ってこない！

2024年5月21日の本誌で「拉致問題は解決しない」という題でその理由を述べた。北朝鮮に対する外交基本政策が「拉致問題の解決なしに国交正常化なし」である限り拉致問題、ミサイル問題その他の諸問題の解決はないと述べた。

日本が国交正常化又は平和条約を結んでいない国から見れば日本は第二次大戦の敗戦国である。国連の敵国条項(第53条、107条、77条)で明らかのように日本は敗戦国であるがゆえに正当な主張さえ難しくなっている。

国交正常化又は平和条約を結んでいない国との間のあらゆる問題は、日本が敗戦国の立場のまま交渉すれば「要求」が出来ず「お願い」になってしまう。

金正日が日朝国交正常化を最優先したのに当時の安倍晋三副官房長官のリーダーシップで日本は拉致問題を優先した。

北朝鮮であろうとこの国であろうと、又由々しき問題があろうとなかろうと、まだ国交正常化、平和条約を締結していない国とは一刻も早く国交回復、出来れば平和条約を締結すべきなのである。

安倍元総理はプーチン大統領と30回以上も会談を繰り返したが北方領土返還も日露平和条約の進展もなかった。

安倍元総理は「北方領土が返る日、平和な日」(北方四島の返還なしに平和条約なし)の看板(スローガン)を総務省のビルの壁から外し、日露平和条約優先に舵を切ったが、(アメリカに洗脳された)国内勢力に負けてしまったので今や絶望的である。

北朝鮮もロシアも日本が敗戦国の汚名を捨てる事が出来る国交正常化や平和条約を優先しているのに日本はかたくなに拒み続けている。

こんな不思議なことはない。

「不思議なことには裏(真実)がある」。

今日本とロシアが平和条約を結んで一番困る国は何処だ？

### 大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

#### いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。